

四半期報告書

(第82期第1四半期)

自 平成23年4月1日

至 平成23年6月30日

株式会社G S I クレオス

東京都千代田区九段南二丁目3番1号

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 2
- 2 事業の内容 3

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 4
- 2 経営上の重要な契約等 4
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 4

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 6
- (2) 新株予約権等の状況 6
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 6
- (4) ライツプランの内容 6
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 6
- (6) 大株主の状況 6
- (7) 議決権の状況 7

2 役員の状況 7

第4 経理の状況 8

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 9
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 10
- (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 12

2 その他 17

第二部 提出会社の保証会社等の情報 18

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月12日
【四半期会計期間】	第82期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	株式会社G S I クレオス
【英訳名】	GSI Creos Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 深瀬 佳洋
【本店の所在の場所】	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
【電話番号】	東京（5211）1828
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 沖田 陽二
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
【電話番号】	東京（5211）1828
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 沖田 陽二
【縦覧に供する場所】	株式会社G S I クレオス大阪支店 （大阪市中央区大手前一丁目7番31号（OMMビル）） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第81期 第1四半期連結 累計期間	第82期 第1四半期連結 累計期間	第81期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (百万円)	26,843	27,977	116,024
経常利益 (百万円)	379	394	1,427
四半期(当期)純利益 (百万円)	250	317	828
四半期包括利益又は 包括利益 (百万円)	△21	230	484
純資産額 (百万円)	10,442	11,159	10,928
総資産額 (百万円)	56,224	54,969	55,031
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	3.90	4.93	12.87
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	18.41	20.17	19.73
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	615	△510	1,049
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△23	△96	△178
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△79	17	△1,194
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	10,356	8,841	9,425

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には消費税等は含まれておりません。

3 第81期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災がサプライチェーンの混乱や電力供給不安をもたらし、消費や生産活動に大きな影響を及ぼしたことにより、低調に推移しました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の業績は、繊維関連取引が拡大したことから、売上高は前年同期比1,134百万円、4.2%増収の27,977百万円となりました。

売上総利益は、前年同期比102百万円、3.3%増益の3,186百万円となりましたが、営業利益は、販売費及び一般管理費が増加しましたので、前年同期比5百万円、1.1%減益の465百万円となりました。経常利益は、営業外損益が改善したことから、前年同期比14百万円、3.9%増益の394百万円となり、四半期純利益は前年同期比66百万円、26.5%増益の317百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①繊維関連事業

企画提案型の婦人ファンデーションの取引は伸長しましたが、生産コスト上昇の影響を受けました。機能性の高いインナー用原糸および生地取引は前年並みで推移しました。また、量販店向け実用衣料は、パンストなどの取扱いが減少する一方、クールビズ対応の機能性肌着の取扱いは増加しました。

アウター用生地は、欧米および韓国向け輸出が増加しました。SPA型アパレルを指向し4月に分社化した婦人アパレル事業は、一部に震災の影響を受けたものの、売上高は増加しました。また、OEM取引も、メンズおよびレディースともに、苦戦した前年に比べやや回復しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比1,252百万円、6.0%増収の22,156百万円、営業利益は前年同期比92百万円、25.9%増益の448百万円となりました。

②非繊維関連事業

米国における半導体用途の化学製品は取扱いが減少するとともに、急激な円高により、売上高が減少しました。一方、フィルムは、飲料水の需要増にともない、ペットボトル用途の取扱いが増加しました。

ホビー関連商品は、プラモデル用塗料が前年並みとなりましたが、猛暑や震災の影響もあり、総じて苦戦しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比118百万円、2.0%減収の5,821百万円、営業利益は前年同期比99百万円、38.1%減益の161百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、商品、未着商品の増加などがあったものの、現金及び預金の減少などにより、前期末比61百万円減少の54,969百万円となりました。

負債は、仕入債務の増加や借入金の増加などがあったものの、引当金の減少などにより、前期末比292百万円減少の43,809百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少などがあったものの、四半期純利益による株主資本の増加により、前期末比230百万円増加の11,159百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、たな卸資産の増加など営業活動による支出などの要因により、全体では前連結会計年度末に比べ583百万円減少の8,841百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、510百万円の減少（前年同期比1,125百万円の支出の増加）となりました。主な要因はたな卸資産の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、96百万円の減少（前年同期比73百万円の支出の増加）となりました。主な要因は出資金の払込による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、17百万円の増加（前年同期比96百万円の収入の増加）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発活動について、特記すべき事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成23年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	64,649,715	64,649,715	東京証券取引所 (市場第一部) 大阪証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株で あります。
計	64,649,715	64,649,715	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	—	64,649	—	7,186	—	913

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成23年3月31日の株主名簿により記載しております。

① 【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 290,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 63,772,000	63,772	—
単元未満株式	普通株式 587,715	—	—
発行済株式総数	64,649,715	—	—
総株主の議決権	—	63,772	—

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式316株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成23年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
(自己保有株式) 株式会社G S I クレオス	東京都千代田区九段南 二丁目3番1号	290,000	—	290,000	0.45
計	—	290,000	—	290,000	0.45

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人 保森会計事務所による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,425	8,841
受取手形及び売掛金	※2 25,792	※2 25,887
商品	8,093	8,438
未着商品	239	421
その他	1,305	1,248
貸倒引当金	△467	△466
流動資産合計	44,388	44,372
固定資産		
有形固定資産	5,590	5,565
無形固定資産	116	126
投資その他の資産	※3 4,935	※3 4,904
固定資産合計	10,642	10,597
資産合計	55,031	54,969
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,828	18,986
短期借入金	15,669	15,989
1年内返済予定の長期借入金	1,121	1,101
未払法人税等	150	100
引当金	711	247
その他	1,821	1,871
流動負債合計	38,303	38,297
固定負債		
長期借入金	4,481	4,220
退職給付引当金	1,205	1,181
負ののれん	0	0
その他	112	109
固定負債合計	5,798	5,511
負債合計	44,102	43,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	908	908
利益剰余金	4,092	4,409
自己株式	△54	△54
株主資本合計	12,133	12,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△557	△679
繰延ヘッジ損益	△16	△17
為替換算調整勘定	△702	△666
その他の包括利益累計額合計	△1,277	△1,364
少数株主持分	72	73
純資産合計	10,928	11,159
負債純資産合計	55,031	54,969

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	26,843	27,977
売上原価	23,759	24,791
売上総利益	3,083	3,186
販売費及び一般管理費	2,613	2,721
営業利益	470	465
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	29	32
その他	45	16
営業外収益合計	81	54
営業外費用		
支払利息	102	102
為替差損	42	14
その他	27	8
営業外費用合計	172	125
経常利益	379	394
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	24	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7	—
特別損失合計	32	0
税金等調整前四半期純利益	348	393
法人税、住民税及び事業税	97	70
法人税等調整額	△0	5
法人税等合計	96	75
少数株主損益調整前四半期純利益	251	317
少数株主利益	0	0
四半期純利益	250	317

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	251	317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△263	△122
繰延ヘッジ損益	△25	△1
為替換算調整勘定	15	36
その他の包括利益合計	△272	△87
四半期包括利益	△21	230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△21	230
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	348	393
減価償却費	56	53
のれん償却額	△7	△0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△27	△23
事業撤退特別損失引当金の増減額 (△は減少)	△6	△295
受取利息及び受取配当金	△35	△38
支払利息	102	102
為替差損益 (△は益)	0	△0
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1	0
有形固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	24	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,095	52
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△899	△510
その他の資産の増減額 (△は増加)	3	30
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,605	42
その他の負債の増減額 (△は減少)	△173	△177
その他	△32	21
小計	861	△346
利息及び配当金の受取額	39	38
利息の支払額	△97	△99
法人税等の支払額	△188	△103
営業活動によるキャッシュ・フロー	615	△510
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16	△23
有形固定資産の売却による収入	1	1
投資有価証券の取得による支出	△4	△0
出資金の払込による支出	—	△93
貸付けによる支出	△42	△0
貸付金の回収による収入	8	28
その他	30	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23	△96
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△39	310
長期借入金の返済による支出	△30	△280
少数株主への配当金の支払額	△0	—
その他	△8	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79	17
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	517	△583
現金及び現金同等物の期首残高	9,838	9,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 10,356	※1 8,841

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

一部連結子会社については見積実効税率により税金費用を算定しております。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)																												
<p>1 保証債務 連結会社以外の会社の借入金に対し、保証しております。(円換算は決算日の為替相場によっております。)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">GSI Europe-Import+Export Gmbh</td> <td style="text-align: right;">163百万円</td> </tr> <tr> <td>GSI (Shenzhen)Ltd.</td> <td style="text-align: right;">76</td> </tr> <tr> <td>GSI Creos (Beijing) Co.,Ltd.</td> <td style="text-align: right;">76</td> </tr> <tr> <td>日神工業株式会社</td> <td style="text-align: right;">63</td> </tr> <tr> <td>GSI Shanghai Engineering Plastic Processing Co.,Ltd.</td> <td style="text-align: right;">50</td> </tr> <tr> <td>寧波武田紡績有限公司</td> <td style="text-align: right;">24</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">454百万円</td> </tr> </table>	GSI Europe-Import+Export Gmbh	163百万円	GSI (Shenzhen)Ltd.	76	GSI Creos (Beijing) Co.,Ltd.	76	日神工業株式会社	63	GSI Shanghai Engineering Plastic Processing Co.,Ltd.	50	寧波武田紡績有限公司	24	計	454百万円	<p>1 保証債務 連結会社以外の会社の借入金に対し、保証しております。(円換算は第1四半期決算日の為替相場によっております。)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">GSI Europe-Import+Export Gmbh</td> <td style="text-align: right;">191百万円</td> </tr> <tr> <td>GSI Creos (Beijing) Co.,Ltd.</td> <td style="text-align: right;">74</td> </tr> <tr> <td>日神工業株式会社</td> <td style="text-align: right;">55</td> </tr> <tr> <td>GSI (Shenzhen)Ltd.</td> <td style="text-align: right;">54</td> </tr> <tr> <td>GSI Shanghai Engineering Plastic Processing Co.,Ltd.</td> <td style="text-align: right;">49</td> </tr> <tr> <td>寧波武田紡績有限公司</td> <td style="text-align: right;">24</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">451百万円</td> </tr> </table>	GSI Europe-Import+Export Gmbh	191百万円	GSI Creos (Beijing) Co.,Ltd.	74	日神工業株式会社	55	GSI (Shenzhen)Ltd.	54	GSI Shanghai Engineering Plastic Processing Co.,Ltd.	49	寧波武田紡績有限公司	24	計	451百万円
GSI Europe-Import+Export Gmbh	163百万円																												
GSI (Shenzhen)Ltd.	76																												
GSI Creos (Beijing) Co.,Ltd.	76																												
日神工業株式会社	63																												
GSI Shanghai Engineering Plastic Processing Co.,Ltd.	50																												
寧波武田紡績有限公司	24																												
計	454百万円																												
GSI Europe-Import+Export Gmbh	191百万円																												
GSI Creos (Beijing) Co.,Ltd.	74																												
日神工業株式会社	55																												
GSI (Shenzhen)Ltd.	54																												
GSI Shanghai Engineering Plastic Processing Co.,Ltd.	49																												
寧波武田紡績有限公司	24																												
計	451百万円																												
<p>※2 手形割引高 受取手形割引高 148百万円</p>	<p>※2 手形割引高 受取手形割引高 147百万円</p>																												
<p>※3 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 381百万円</p>	<p>※3 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 381百万円</p>																												

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)								
<p>※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金</td> <td style="text-align: right;">10,356百万円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">10,356百万円</td> </tr> </table>	現金及び預金	10,356百万円	現金及び現金同等物	10,356百万円	<p>※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金</td> <td style="text-align: right;">8,841百万円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">8,841百万円</td> </tr> </table>	現金及び預金	8,841百万円	現金及び現金同等物	8,841百万円
現金及び預金	10,356百万円								
現金及び現金同等物	10,356百万円								
現金及び預金	8,841百万円								
現金及び現金同等物	8,841百万円								

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

- 1 配当金支払額
該当事項はありません。
- 2 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

- 1 配当金支払額
該当事項はありません。
- 2 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	非繊維関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,903	5,939	26,843	—	26,843
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	27	27	(27)	—
計	20,903	5,967	26,871	(27)	26,843
セグメント利益	356	261	617	(147)	470

(注) 1 セグメント利益の調整額△147百万円には、セグメント間取引消去27百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用119百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	非繊維関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,156	5,821	27,977	—	27,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	29	29	(29)	—
計	22,156	5,850	28,007	(29)	27,977
セグメント利益	448	161	610	(145)	465

(注) 1 セグメント利益の調整額△145百万円には、セグメント間取引消去29百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用115百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

共通支配下の取引等

1. 対象となった事業の名称およびその事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

- (1) 対象となった事業の名称およびその事業の内容

事業の名称：婦人アパレル事業

事業の内容：衣料品および関連商品の企画、製造、販売

- (2) 企業結合日

平成23年4月1日

- (3) 企業結合の法的形式

当社を分割会社とし、新設会社を承継会社とする新設分割(簡易新設分割)

- (4) 結合後企業の名称

株式会社クレオスアパレル(当社の連結子会社)

- (5) 取引の目的を含む取引の概要

直営店(小売)事業という従来とは異なるビジネスモデルに対応するとともに移り変わりの激しいファッショントレンドに機敏に対応するため、婦人アパレル事業の一部を分社化することといたしました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成20年12月26日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	3円90銭	4円93銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	250	317
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	250	317
普通株式の期中平均株式数(千株)	64,369	64,358

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月10日

株式会社G S I クレオス
取 締 役 会 御 中

監査法人 保森会計事務所

代 表 社 員 公 認 会 計 士 大 東 幸 司 印
業 務 執 行 社 員

代 表 社 員 公 認 会 計 士 渡 部 逸 雄 印
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社G S I クレオスの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社G S I クレオス及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月12日
【会社名】	株式会社G S I クレオス
【英訳名】	GSI Creos Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 深 瀬 佳 洋
【最高財務責任者の役職氏名】	該当なし
【本店の所在の場所】	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
【縦覧に供する場所】	株式会社G S I クレオス大阪支店 (大阪府中央区大手前一丁目7番31号 (OMMビル)) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長深瀬佳洋は、当社の第82期第1四半期（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。